

基本構想

1. まちづくりの基本理念

「みんなが主役のまちづくり」

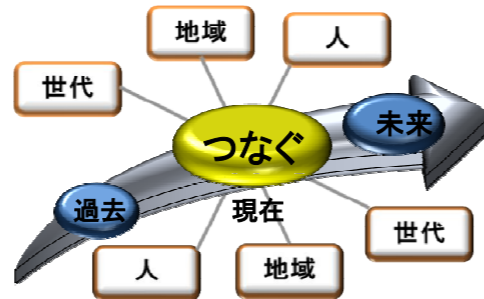
これまで築いてきた市政の流れを継承し、よりよい地域社会を実現するため、市民を始めとしたさまざまな主体が連携・協働しながら自主的にまちづくりにかかわっていく「みんなが主役のまちづくり」を基本理念として掲げます。

2. まちづくりの視点

豊かな自然に囲まれた首都圏の住宅都市として発展してきた本市は、市制施行後30年が過ぎ、今後もますますの発展が期待されています。しかし、少子高齢化の急速な進展などにより、地域の活力の低下が懸念されています。

一方で、東日本大震災を契機に、人々の安全・安心への意識が高まっており、人と人とのきずな、地域コミュニティの重要性が改めて見直されています。

このような社会状況のなか、本市における地域資源である「人」「自然」「歴史」を活かし、未来を担う子どもたちに、安全で活力あるふるさと四街道を引き継ぐためには、これらの資源を有機的につないでいくことにより、相乗効果を高め、魅力あるまちづくりを進める必要があります。



人と人をつなぐ
地域と地域をつなぐ
世代と世代をつなぐ
そして過去から現在、未来へとつなぐ。
本市は、これら「つなぐ」視点を大切にして
持続可能なまちづくりを推進していきます。

3. 将来都市像 **人 みどり 子育て 選ばれる安心快適都市 四街道**

本市の地域資源である、人、自然、歴史を大切にしながら、文化を育み、都市機能と市民活動、そして子育て環境を充実していくことで、誰もが安心して快適に暮らせる都市として、選ばれる四街道をめざします。

5. 将来フレーム

○将来人口フレーム

・子育て支援や若年層の定住促進策を推進し、市内の良質な住宅地へ人口流入を図ることで、引き続き人口増加基調を維持していくことをめざします。

区分	平成25年度(※)	平成30年度	平成35年度
人口	88,577人	92,000人	93,000人
世帯数	34,026世帯	36,500世帯	37,400世帯
一世帯あたり人員	2.6人	2.5人	2.5人

※平成25年度は平成25年1月1日現在

○年齢構成

・団塊の世代の高齢化により、高齢化率は急激に上昇し、今後も高齢者の増加傾向は続くものと予想されます。また、出生率の長期的低迷により、少子化が一層進行しています。

・若年層の定住促進や子育て支援、まちの魅力発信するシティセールスなどの施策を充実させることにより、ファミリー層の転入を促進し、バランスのとれた人口構成の確保に努めます。

区分	平成25年度(※)		平成30年度		平成35年度	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
0～14歳	11,958人	13.5%	11,960人	13.0%	11,360人	12.2%
15～64歳	54,918人	62.0%	53,360人	58.0%	54,120人	58.2%
65歳以上	21,701人	24.5%	26,680人	29.0%	27,520人	29.6%
合計	88,577人	100.0%	92,000人	100.0%	93,000人	100.0%

※平成25年度は平成25年1月1日現在

○産業別就業人口

・第1次産業は、就業者、就業比率ともに減少していくものと見込まれます。

・第2次産業についても、これまでの傾向を引き継ぎ、今後も減少していくものと見込まれます。

・第3次産業については、今後も少しずつではありますが増加していくものと見込まれます。

区分	平成22年度(※)		平成30年度		平成35年度	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
第1次産業	515人	1.4%	380人	1.1%	330人	1.0%
第2次産業	7,330人	19.7%	5,980人	16.5%	5,450人	14.8%
第3次産業	29,413人	78.9%	29,840人	82.4%	31,000人	84.2%
合計	37,258人	100.0%	36,200人	100.0%	36,800人	100.0%

※平成22年度は国勢調査 平成22年10月1日現在

4. 基本目標・7. 施策の大綱

基本目標1 **だれもが健康でいきいき暮らせるまち**

大人も子どもも、障害のある人もない人も、すべての人が、生きがいをもって元気に生活できる、「だれもが健康でいきいき暮らせるまち」をめざします。

《施策分野》 子ども家庭支援、高齢者支援、障害者支援、地域福祉、健康づくり、社会保障

基本目標2 **安全・安心を実現するまち**

災害や犯罪などの不安が少ない安全な環境で、だれもが安心して日常生活を送れる、「安全・安心を実現するまち」をめざします。

《施策分野》 防災・減災、消防・救急、防犯、交通安全、消費者保護

基本目標3 **豊かな心を育み学ぶ喜びを実感できるまち**

家庭・学校・地域が連携しながら、子どもたちが安心して確かな学力を身につけ、そして、だれもが気軽に学習活動、文化活動、スポーツ活動に親しめる、「豊かな心を育み学ぶ喜びを実感できるまち」をめざします。

《施策分野》 こども教育、生涯学習、文化・スポーツ

基本目標4 **みどりと都市が調和したうらおいのあるまち**

快適な生活を保障する生活基盤のもとで、地球環境も視野に入れた大きな視点と暮らしやすい環境の醸成という地域としての視点の両面から、環境に配慮し、自然を身近に感じながら暮らしていける、「みどりと都市が調和したうらおいのあるまち」をめざします。

《施策分野》 環境保全、循環型社会、住環境、生活基盤

基本目標5 **にぎわいと活力にあふれたまち**

計画的に形成された優良な市街地のもと、円滑で快適な移動環境がもたらす活発な地域間交流や、経済活動により地域が活性化し、「にぎわいと活力にあふれたまち」をめざします。

《施策分野》 道路・交通、市街地形成、産業・就労支援

基本目標6 **ともに創る将来に向けて持続可能なまち**

まちづくりや地域活動などに、市民がみんなで参加し、協働し、貢献しながら、本市の魅力を最大限に活かして、ひとまかも成長していく、「ともに創る将来に向けて持続可能なまち」をめざします。

《施策分野》 みんなで地域づくり、シティセールス、行財政運営、共生社会

6. 土地利用構想

都市の方向性

(1) にぎわいと活力ある都市

市街化区域内における低・未利用地の利用促進や景観等に配慮した土地の高度利用を図るとともに日常生活に必要な商業業務機能等の誘導によりにぎわいのある都市をめざします。

(2) 安全・安心な快適都市

都市防災機能の強化により誰もが安心して暮らせる安全なまちをめざします。また都市機能を質的に向上することにより誰もが快適に過ごすことのできる都市をめざします。

(3) 緑と調和するやすらぎの都市

市街地を取り巻く緑等の適切な保全や活用を図り、緑豊かな心やすらぎ都市をめざします。

都市構造

- ◆都市核 商業業務機能など都市の発展の核となる地域を「都市核」、補完する地域を「地域核」と位置づけます。
①四街道駅周辺都市核 ②物井駅周辺地域核 ③成台中地域核
- ◆交通体系 ①道路網：都市計画道路の効果的な整備を進め、周辺幹線道路網とのネットワーク強化を図ります。
②鉄道：利便性向上に向け、市内交通の結節点である四街道駅・物井駅の一層の充実を図ります。
- ◆緑地空間 緑と市街地の緑地空間等を結ぶネットワークの充実により、緑地空間の効果的な形成を図ります。